

◆ 今週のコメント

・ 四類感染症の追加について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令の一部を改正する省令が、平成28年2月15日から施行され、四類感染症にジカウイルス感染症が追加されました。詳しくは以下のホームページで御確認ください。

○厚生労働省ホームページ

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(一部改正)」(厚生労働省通知及び新旧対照表)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000112524.pdf>

「ジカウイルス感染症を疑う症例の要件について」

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000113709.pdf>

○京都市情報館ホームページ

「感染症発生動向調査事業に関する届出様式」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000043726.html>

・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が4例(80歳代男性, 70歳代及び40歳代女性(2例))あります。本年の累積報告数は20例となっています。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており、ワクチンによる予防が重要となります。予防接種法により、小児用肺炎球菌ワクチン及び高齢者(成人用)肺炎球菌ワクチンは定期接種化されています。詳細は、下記ホームページを御参照ください。

○京都市情報館ホームページ

「京都市が実施する定期的予防接種について(子どもの予防接種/協力医療機関検索はこちら)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

・ 梅毒の報告が1例(20歳代女性)あり、症状はありません。本年の累積報告数は2例となっています。

◆ 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

・ 京都市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.66(68例)となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 12例(肺結核 8例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 6例
【1月以降の累積報告数 46例(肺結核 29例, その他結核 6例, 潜在性結核感染者 11例)うち喀痰塗抹陽性16例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 20例】
- ・ 五類: 梅毒(無症状病原体保有者) 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	32. 82	2, 232
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8. 12	333
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 66	68
	③ 流行性耳下腺炎	0. 71	29
	④ 咽頭結膜熱	0. 51	21
	⑤ 水痘	0. 49	20
眼科	流行性角結膜炎	0. 50	5

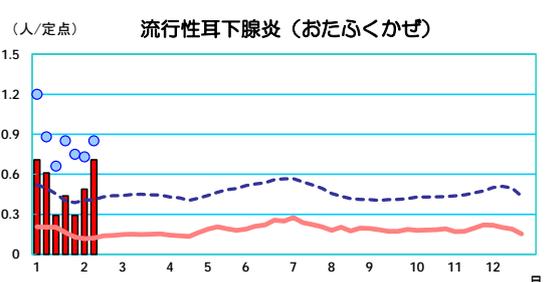
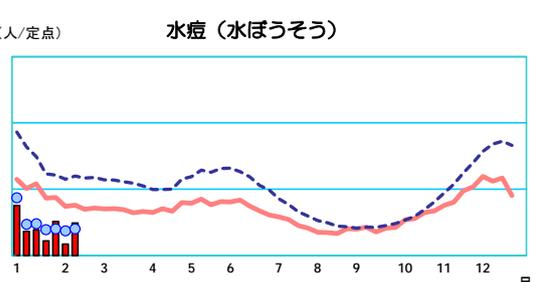
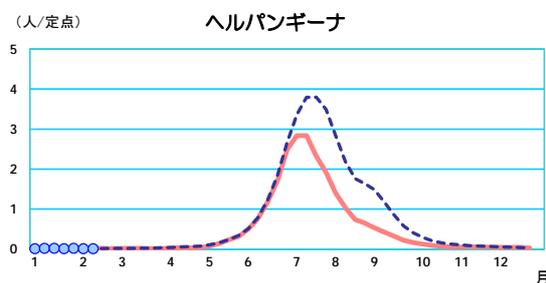
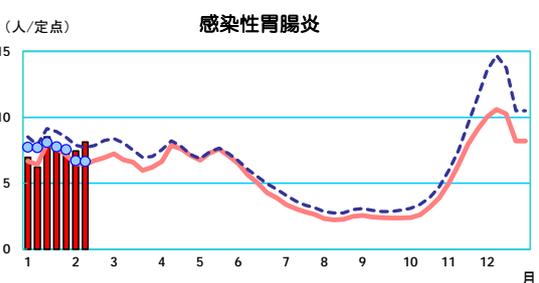
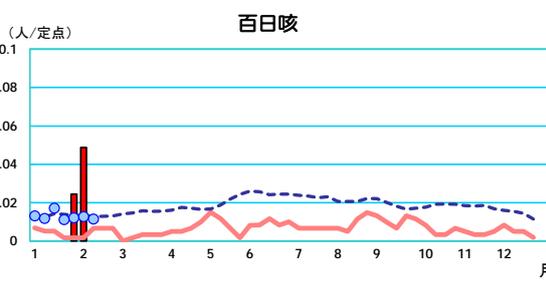
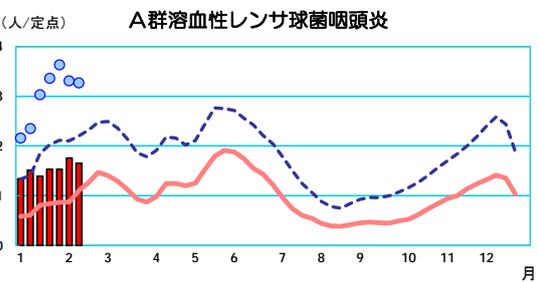
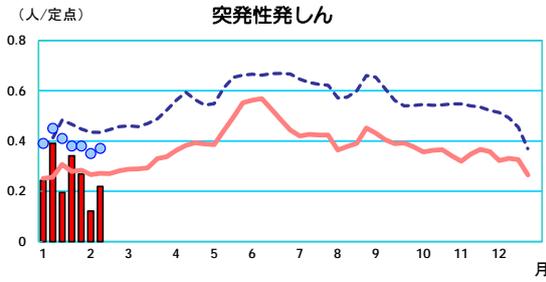
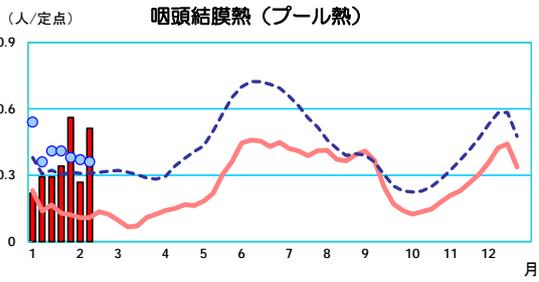
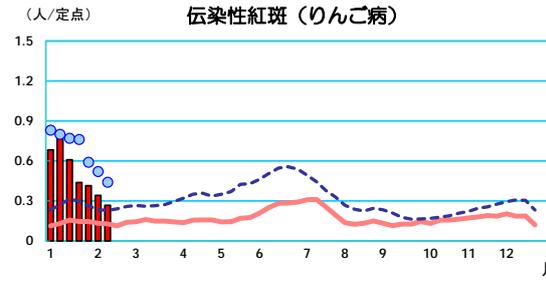
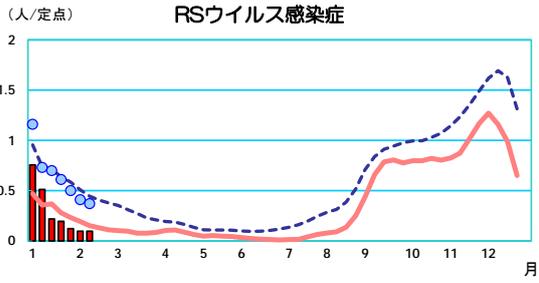
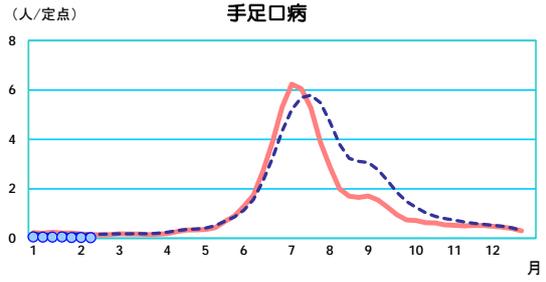
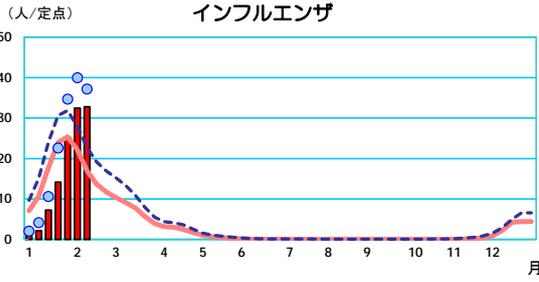
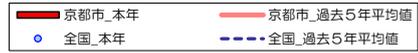
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年2月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第7週(2月15日～2月21日)トピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

京都市及び全国の発生動向

京都市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.66(68例)となっています(図1)。昨年後半から今年にかけて、過去5年間と比べ報告数の多い状況が続いています(図2)。全国の定点当たり報告数は3.27となり、全国過去5年平均値を上回っています(図1)。都道府県別でみると多い順に鳥取県、山形県、宮城県となっています(図3)。京都市及び全国で報告数が例年を上回っていることから、今後の発生動向に注意が必要です。

症状

潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。通常、発熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に主症状が消失する予後良好の疾患ですが、皮膚の発疹や舌の発赤が現れる「猩(しょう)紅熱」という状態になることがあります。ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに感染しやすく、家庭での兄弟間や、学校、幼稚園、保育園など小児の集団生活施設での感染も多くみられます。

予防

感染予防としては、患者との濃厚接触を避けることが最も重要です。また、うがいや流水・石鹸による手洗いを励行し、咳やくしゃみによる周囲への感染予防のため咳エチケットを心掛けましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

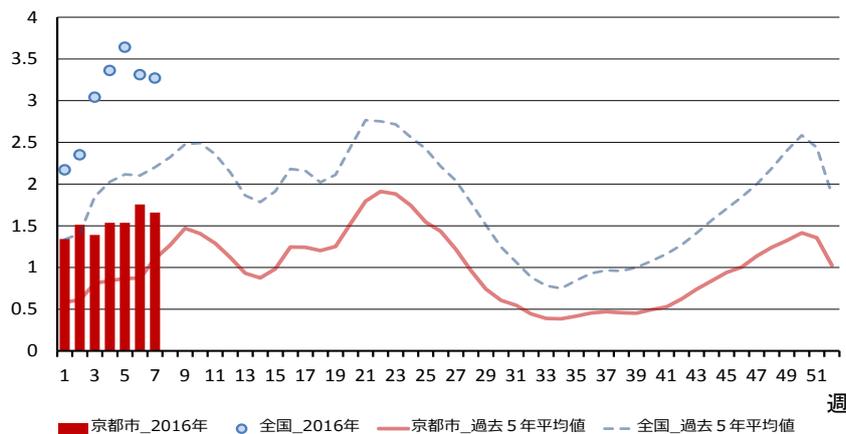


図2 京都市の定点当たり報告数の推移(2010年以降)

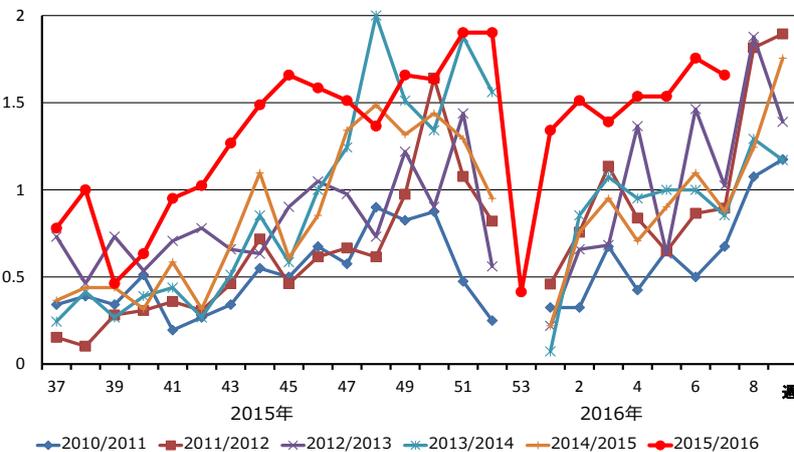
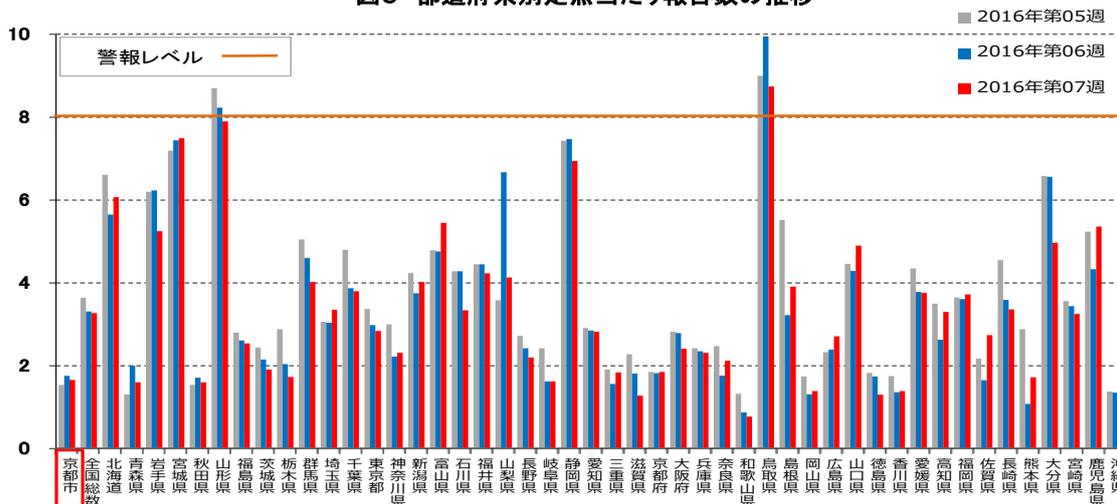


図3 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第7週

疾病,行政区別報告数

平成28年2月15日～平成28年2月21日

データ入手日:平成28年2月24日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	115	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	115	-	-	12	7	1	-	2	1	-	-	-	-	-						
左京	259	-	1	2	37	4	-	2	2	-	-	4	-	-						
中京	102	2	-	3	25	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	69	2	-	-	31	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
山科	185	-	-	31	14	1	-	-	-	-	-	7	-	2						
下京	58	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
南	281	-	-	1	24	-	-	-	2	-	-	-	-	-						
右京	314	-	18	9	70	3	-	3	1	-	-	2	-	2						
伏見	470	-	2	6	67	7	-	3	2	-	-	14	-	-						
西京	264	-	-	4	49	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
京都市計	2,232	4	21	68	333	20	-	11	9	-	-	29	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	16.43	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	23.00	-	-	4.00	2.33	0.33	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-						
左京	37.00	-	0.25	0.50	9.25	1.00	-	0.50	0.50	-	-	1.00	-	-						
中京	20.40	0.67	-	1.00	8.33	1.00	-	-	0.33	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	23.00	1.00	-	-	15.50	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
山科	26.43	-	-	7.75	3.50	0.25	-	-	-	-	-	1.75	-	2.00						
下京	19.33	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
南	56.20	-	-	0.33	8.00	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-						
右京	39.25	-	3.60	1.80	14.00	0.60	-	0.60	0.20	-	-	0.40	-	2.00						
伏見	42.73	-	0.29	0.86	9.57	1.00	-	0.43	0.29	-	-	2.00	-	-						
西京	37.71	-	-	1.00	12.25	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-						
京都市計	32.82	0.10	0.51	1.66	8.12	0.49	-	0.27	0.22	-	-	0.71	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第7週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年2月15日～平成28年2月21日

データ入手日:平成28年2月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	2,232	4	22	81	72	102	132	166	138	164	115	132	354	93	99	142	185	104	69	38	20
RSウイルス感染症	年齢3	4	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		21	-	-	1	2	1	2	7	4	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		68	-	-	3	10	4	5	9	5	9	3	3	12	1	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		333	1	14	46	42	36	25	22	15	20	11	15	38	9	39	-	-	-	-	-	-
水痘		20	1	-	3	6	2	1	2	-	2	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		11	-	-	-	1	2	1	2	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		29	-	-	1	2	4	1	5	6	4	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	32.82	0.06	0.32	1.19	1.06	1.50	1.94	2.44	2.03	2.41	1.69	1.94	5.21	1.37	1.46	2.09	2.72	1.53	1.01	0.56	0.29
RSウイルス感染症	年齢3	0.10	0.02	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.51	-	-	0.02	0.05	0.02	0.05	0.17	0.10	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.66	-	-	0.07	0.24	0.10	0.12	0.22	0.12	0.22	0.07	0.07	0.29	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		8.12	0.02	0.34	1.12	1.02	0.88	0.61	0.54	0.37	0.49	0.27	0.37	0.93	0.22	0.95	-	-	-	-	-	-
水痘		0.49	0.02	-	0.07	0.15	0.05	0.02	0.05	-	0.05	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.27	-	-	-	0.02	0.05	0.02	0.05	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.22	-	0.17	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.71	-	-	0.02	0.05	0.10	0.02	0.12	0.15	0.10	0.07	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	0.20	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第7週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年2月24日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	148	493	961	1,715	2,206	2,232
RSウイルス感染症	21	9	8	5	4	4
咽頭結膜熱	12	12	14	23	11	21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	57	63	63	72	68
感染性胃腸炎	255	349	317	318	306	333
水痘	15	16	9	21	7	20
手足口病	1	1	2	-	1	-
伝染性紅斑	33	25	18	17	14	11
突発性発しん	16	8	14	11	5	9
百日咳	-	-	-	1	2	-
ヘルパンギーナ	3	2	3	1	1	-
流行性耳下腺炎	25	12	18	12	20	29
急性出血性結膜炎	-	-	1	-	-	-
流行性角結膜炎	5	1	-	6	1	5
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	596	985	1,428	2,194	2,650	2,732

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	2.18	7.25	14.13	25.22	32.44	32.82
RSウイルス感染症	0.51	0.22	0.20	0.12	0.10	0.10
咽頭結膜熱	0.29	0.29	0.34	0.56	0.27	0.51
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.51	1.39	1.54	1.54	1.76	1.66
感染性胃腸炎	6.22	8.51	7.73	7.76	7.46	8.12
水痘	0.37	0.39	0.22	0.51	0.17	0.49
手足口病	0.02	0.02	0.05	-	0.02	-
伝染性紅斑	0.80	0.61	0.44	0.41	0.34	0.27
突発性発しん	0.39	0.20	0.34	0.27	0.12	0.22
百日咳	-	-	-	0.02	0.05	-
ヘルパンギーナ	0.07	0.05	0.07	0.02	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.61	0.29	0.44	0.29	0.49	0.71
急性出血性結膜炎	-	-	0.10	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.10	-	0.60	0.10	0.50
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1.00	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	13.48	19.33	25.60	38.33	43.35	45.40

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。